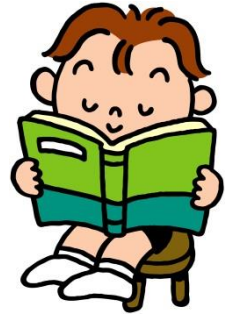


# 5・6年生向け 2025 夏 図書館員のおすすめの本



(◆佐原中央図書館の請求記号 ◇小見川図書館の請求記号)

## 海ガラスの夏

ミシェル・ハウツ/文  
バグラム・イバトゥーリン/絵  
島 式子、島 玲子/訳  
BL 出版  
◆◇KE/I



おばあちゃんの島の家で夏を過ごしていたトーマスは、ある朝、海岸で海ガラスを見つけた。海ガラスとは、海岸に流れついたガラスの破片(はへん)のこと。海ガラスには、ひとつひとつ物語があるとおじいちゃんと言う。このガラスの物語はどんなだろう。海ガラスをそばに置いてねむったトーマスは、夢を見た。

小さな海ガラスが運んでくる、壮大(そうだい)な物語。

## はじめての夏とキセキのたまご

麻生 かづこ/作  
酒井 以/絵  
ポプラ社  
◆◇K913/7



夏休みに入ったとたんに、都会から田舎に引っ越した世夏(せな)。村の近くにある「恐竜(きょうりゅう)の町」をさがしている時に会った2人の男の子、ムッチと陸。3人とも恐竜が好きで、夏休みに「恐竜」がテーマの自由研究をそれぞれすることになった。本当に村の地層(ちそう)から化石は見つかるのか？都会っ子の世夏が田舎で過ごす「はじめての夏」の物語。

## 夏休みに、ぼくが図書館で見つけたもの

濱野 京子/作  
森川 泉/絵  
あかね書房  
◆◇K913/h



本好きの達輝はクラスで目立たないけれど、図書館では本の知識やしょうかいで大かつやく。同じクラスの彩友から本探しの相談を受けた達輝は、ある日、サッカー好きの令央を図書館で見かけた。令央とはそれから図書館で会うようになっていったが…。

本がつなぐひと夏の友情物語。

## 病院図書館の青と空

令丈 ヒロ子/著  
講談社  
◆◇K913/l



本が大好きな小らの空花(そらは)は入院中。患者(かんじゃ)向けの病院図書館に行き、なつかしい本を開いてみると、ページの間から、ふわっとあまい、いいにおいがしてきた。そして、さし絵のはしから青色の服を着た女の子、アオが現れる。

すると、不思議なことに空花はアオに本の中へと引っ張られてしまった。

## ブラックホールの飼い方

ミシェル・クエヴァス/作  
杉田 七重/訳  
小学館  
◆K933/ク ◇K930/ク



まっくらな天体であるブラックホールを自分のペットにして飼うことにした、11歳の女の子ステラの物語。

ブラックホールにラリーという名前をつけ、自分のきらいなものをつぎつぎと飲みこませていく。最後は自分も飲みこまれ、いっしょにさまざまな事件をまきおこす。ワクワクドキドキのファンタジー。

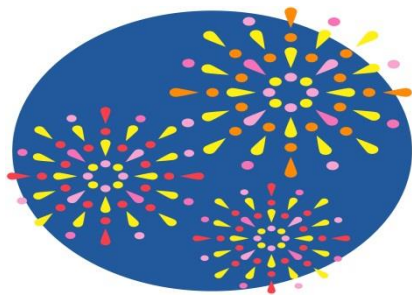
## エヴィーのひみつと消えた動物たち

マット・ヘイグ/作  
宮坂 宏美/訳  
ゆうこ/絵  
ほるぷ出版  
◆K933/h ◇K930/h



エヴィーは動物が大すきな女の子。そして、動物と心で話ができるギフトと呼ばれる力がある。

ある日、強力なギフトの力で動物をあやつり、悪事をはたらく男に出会う。男と動物たちに命をねらわれて、エヴィーは大ピンチ！



## 消えたレッサーパンダを追え！ 警視庁「生きもの係」事件簿

たけたに ちほみ/文  
西脇 せいご/絵  
学研プラス  
◆K317/タ ◇K310

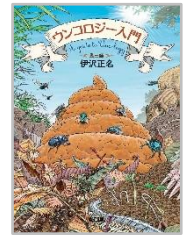


千葉県の動物園からレッサーパンダが盗まれた！警視庁(けいしちょう)の「生きもの係」の福原警部は、犯人をつかまえ、動物を保護することができるだろうか。事件をとおして、人間と動物とのかかわりあい方や、自然の生態系(せいたいけい)についてもしょうかいする。

動物が大好きな警部が活やくする、本当にあった事件簿(じけんぼ)。

## ウンコロジー入門

伊沢 正名/著  
偕成社  
◆K491/イ ◇K490



ウンコロジーは、きちんとウンコを知るための「ウンコ学」のこと。

くさい、きたない、ウンコは、すべての生きものの命の基本。自然の壮大(そうだい)な生態系(せいたいけい)の循環(じゅんかん)の中で、ウンコは土にかえる。

自らを糞土師(ふんどし=ウンコをとことん土にする人)とよぶ著者(ちよしゃ)が、まじめにウンコを語る。

## ガリガリ君ができるまで

岩貞 るみこ/文  
黒須 高嶺/絵  
講談社  
◆K588/イ ◇K580



日本で1番売れている「ガリガリ君」アイス。みんなの好きな「ガリガリ君」アイスはどようやって作られているの？

主人公ナナミは新しい味を作るため、日々挑戦(ちょうせん)！おいしい「ガリガリ君」アイスがどのように作られているのか、アイスができるまでの工場での秘密(ひみつ)や作っている人の熱い想いがたくさんつまったドキュメント小説。

## 宇宙食になったサバ缶

小坂 康之/著  
別司 芳子/著  
早川 世詩男/挿画・挿絵  
小学館  
◆K667/コ ◇K660



地元の名産「サバの缶詰(かんづめ)」を宇宙で食べてもらいたい、そんな生徒の思いから、福井県の高校で宇宙食のサバ缶づくりが始まった。だが、宇宙食作りは思うように進まず、多くの問題が起こる。

生徒たちのしんけんな思いと研究は、先輩(せんぱい)から後輩(こうはい)へ受けつがれ、14年後、ついにサバ缶は宇宙に飛び立つ。

香取市立佐原中央図書館  
電話 0478-55-1343

香取市立小見川図書館  
電話 0478-80-0511

